

第1期教育大綱	第2期のめざすすがたの考え方 ・キーワード（時代の流れ、特に求められる視点）	第2期教育大綱
<p>1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、挑戦するひと</p> <p>社会環境が大きく変化し、複雑化、高度化する中、これからの社会を生きぬくためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つをバランスよく身に付け、社会的に自立する必要があります。</p> <p>また、幼児期から生涯を通じて、広い視野と、自分の考えをしっかりと持ち、夢や希望に向かって挑戦する力や、自分で課題を見つけ、自分で解決する力を育む必要があります。</p> <p>(1) 基礎的な知識・技能や、それを応用するための思考力・判断力・表現力、主体的に学ぼうとする学習意欲を身に付けたひとを育てます。</p> <p>(2) 規則正しい生活習慣、食習慣や体力向上につながる運動習慣などを身に付け、心身ともに健やかなひとを育てます。</p> <p>(3) 自分の考えや問題意識を持つことで、自ら課題を見つけ、課題に対する最善の解決策を導き出せるひとを育てます。</p> <p>(4) 生涯を通じて、学び続ける意欲を持ち、実践していくひとを育てます。</p> <p>(5) 生涯を通じたスポーツ・レクリエーションや芸術文化に触れる体験などにより、豊かな心と健やかな体をもつひとを育てます。</p>	<p>【柱（大項目）の考え方】</p> <p>○「確かな学力」を身に付けるひとづくり</p> <p>○「豊かな心や体力」を身に付けるひとづくり（個人の成長、学校教育部分）</p> <p>【取り入れるべきキーワード】</p> <p>《時代や社会状況の変化》</p> <p>○子どもの貧困</p> <p>○ヤングケアラー</p> <p>○教育のICT化</p> <p>○Society5.0</p> <p>《特に求められる視点》</p> <p>○誰一人取り残さない</p> <p>○情報を活用する力</p>	<p>1 心身ともに充実し、自ら学び、考え、<u>行動挑戦</u>するひと</p> <p>社会環境が大きく変化し、複雑化、高度化する中にあっても変わらない価値として、これからの社会を生きぬくためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つをバランスよく身に付け、社会的に自立する必要があります。</p> <p>また、幼児期からの<u>教育生涯</u>を通じて、広い視野と、自分の考えをしっかりと持ち、夢や希望に向かって挑戦する力や、自分で課題を見つけ、<u>自ら学び、主体的に判断・行動し、</u>自分で解決する力を育む必要があります。</p> <p>(1) <u>習得した</u>基礎的な知識・技能を<u>活用して、課題を解決するために必要な</u>や、それを応用するための思考力・判断力・表現力<u>及び、</u>主体的に<u>学習に取り組む態度</u>学ぼうとする学習意欲を身に付けたひとを育てます。</p> <p>(2) 規則正しい生活習慣、食習慣や体力向上につながる運動習慣などを身に付け、心身ともに健やかなひとを育てます。</p> <p>(3) 自分の考えや問題意識を持つことで、自ら課題を見つけ、課題に対する最善の解決策を導き出せるひとを育てます。</p> <p><u>(4) Society5.0を見据え、ICTを基盤とした先端技術を効果的に活用し、主体的・創造的に変化の激しい時代を生きぬく資質・能力を持つひとを育てます。</u></p> <p><u>(5) 家庭の社会経済的な背景や、障害の状況や特性及び心身の発達の段階など、子どもの発達や学習を取り巻く個別の教育的ニーズを把握し、安全・安心に学ぶ環境を整えることで、心身ともに健やかなひとを育てます。</u></p> <p>(4) 生涯を通じて、学び続ける意欲を持ち、実践していくひとを育てます。</p> <p>(5) 生涯を通じたスポーツ・レクリエーションや芸術文化に触れる体験などにより、豊かな心と健やかな体をもつひとを育てます。</p>

第1期教育大綱	第2期のめざすすがたの考え方 ・キーワード（時代の流れ、特に求められる視点）	第2期教育大綱
	<p>【柱（大項目）の考え方】 ○生涯を通じていきいきと学び、楽しむことができるひとづくり。 ○社会の変化に対応し、新たなことを学び、知識を再構築するなどして、「新たな価値」を創造するひとづくり。 （個人の成長、生涯教育部分）</p> <p>【取り入れるべきキーワード】 《時代や社会状況の変化》 ○Society5.0</p> <p>《特に求められる視点》 ○将来を通じて学び続ける、新しいことを学び始める（リカレント教育） ○情報を活用する力 ○変化に対応する力</p>	<p>2 生涯を通じて、意欲的に学び続けるひと</p> <p><u>テクノロジーの発展や新型コロナウイルス感染症の流行による価値観の変容などを背景に、今後、社会経済が劇的に変化していくことが予想されるなか、そのような変化の時代を力強く生き抜いていくための能力を身につける必要があります。新たなことを学び続けるとともに、誰もが生涯を通じていきいきと学び続けられるよう、学びの環境を整える必要があります。</u></p> <p>(1) <u>生涯を通じて、学び続ける意欲を持ち、実践していくひとを育てます。</u> (2) <u>生涯を通じたスポーツ・レクリエーションや芸術文化に触れる体験などにより、豊かな心と健やかな体をもつひとを育てます。</u> (3) <u>刻々と変化する社会に対応し、必要となる新しい知識やスキルを身に付け、新たなことに挑戦するひと、新たな価値を創造するひとを育てます。</u></p>
<p>2 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと</p> <p>ひとは誰もがかけがえのない存在であり、また、社会で生活していく上では、様々な個性、生き方、考え方を持った人と関わる機会が数多くあることから、一人ひとりがお互いを認め合うことにより、人と人が絆で結ばれ、共に支え合って生きていくことが必要となります。</p> <p>(1) 命の大切さを実感し、自分のことも他人のことも大切にするひとを育てます。 (2) 自分とは異なる個性や生き方、考え方を認め、尊重できるひとを育てます。 (3) 他人との信頼関係を築くことで、助け合い、支え合い、協働できるひとを育てます。</p>	<p>【柱（大項目）の考え方】 ○多様性を尊重し、思いやりとやさしさを持つひとづくり（他者との関わり方）</p> <p>【取り入れるべきキーワード】 《時代や社会状況の変化》 ○（新型コロナウイルス感染症関連の差別やSNSによる誹謗中傷など）人権意識の高まり</p> <p>《特に求められる視点》 ○多様性 ○誰一人取り残さない</p>	<p>3 多様性を認め合い、思いやりの心を持ち、支え合って生きるひと</p> <p>ひとは誰もがかけがえのない存在であり、また、社会で生活していく上では、様々な個性、生き方、考え方を持った人と関わる機会が数多くあることから、一人ひとりがお互いを認め合うことにより、人と人が絆で結ばれ、共に支え合って生きていくことが必要となります。</p> <p>(1) 命の大切さを実感し、自分のことも他人のことも大切にするひとを育てます。 (2) <u>人種、民族、国籍、性別、年齢、障害の有無、思想、性自認や性的指向など</u>自分とは異なる個性や生き方、考え方を認め、尊重できるひとを育てます。 (3) 他人との信頼関係を築くことで、助け合い、支え合い、協働できるひとを育てます。</p>

第1期教育大綱	
3 長崎を愛する心を持ち、世界に貢献するひと	
<p>海や山に囲まれた豊かな自然、出島に代表される海外との交流の歴史、和華蘭文化や世界遺産などへの関心を高め、郷土長崎に誇りを持ち、愛する心を育むとともに、次の世代にしっかりと継承していく必要があります。</p> <p>また、日本だけでなく、他国の歴史や文化についても理解を深め、自ら進んで外国人と交流できる国際感覚を養い、長崎が持つ世界的な価値を発信するとともに、長崎にしかできない役割を果たすことで、日本はもとより、世界に貢献していくことが必要となります。</p> <p>(1) 長崎の豊かな自然や歴史、文化に愛着を感じ、次の世代に継承するひとを育てます。</p> <p>(2) 長崎が持つ世界的な価値や魅力を国内外に発信するひとを育てます。</p> <p>(3) 外国の文化や考え方を理解し、外国の人々との交流や共生を通して、社会に貢献するひとを育てます。</p>	
4 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと	
<p>原爆被爆から70年が経過し、被爆者が減少する中、被爆体験を被爆者から直接継承することが難しくなっていることから、被爆の実相を正しく理解し、次の世代に確実に継承する必要があります。</p> <p>また、世界中の人々の、核兵器廃絶や平和に対する考え方は様々であることから、平和の実現に向けては、それぞれの考え方を理解しながら、世界中の人々と対話することや、平和のメッセージを発信していくことが必要となります。</p> <p>(1) 被爆の実相や体験を学び、次の世代に伝えることができるひとを育てます。</p> <p>(2) 核兵器廃絶のメッセージを世界に向けて発信することができるひとを育てます。</p> <p>(3) 世界の現状を知り、平和とは何かを考えることができるひとを育てます。</p> <p>(4) 平和な世界の実現に向けて国、人種、宗教、文化の違いを認め、相互理解のもとに対話や議論をすることで、身近に信頼を生</p>	

第2期のめざすすがたの考え方 ・キーワード（時代の流れ、特に求められる視点）	
<p>【柱（大項目）の考え方】</p> <p>○異文化に対する関心・理解を深めるためのひとづくり</p> <p>○様々な分野での交流により世界をつなぐ役割を果たし、持続可能な世界の実現に貢献するひとづくり。 （長崎の特性として、国際性をテーマとする。）</p> <p>【取り入れるべきキーワード】</p> <p>《時代や社会状況の変化》</p> <p>○異文化に対する関心・理解を深めるための機会の設定</p> <p>○SDGs（長崎市における先進的な取り組みに対する世界からの期待）</p> <p>《特に求められる視点》</p> <p>○国際理解、国際交流</p> <p>○多文化共生</p>	
<p>【柱（大項目）の考え方】</p> <p>○次世代に被爆の実相や平和への想いを伝えるひとづくり</p> <p>○新たな手法による被爆の実相の継承と平和の発信に関与することができるひとづくり</p> <p>○日常の中に平和の文化を根付かせるひとづくり</p> <p>【取り入れるべきキーワード】</p> <p>《時代や社会状況の変化》</p> <p>○被爆者がいなくなる時代</p> <p>○核兵器廃絶、世界恒久平和に向けた役割を担う被爆都市長崎への期待の高まり</p> <p>《特に求められる視点》</p> <p>○語り継ぐ「ひと」の育成</p> <p>○平和をつくる「ひと」の育成</p> <p>○平和の文化の醸成</p>	

第2期教育大綱	
4 国際性豊かで長崎を愛する心を持ち、持続可能な世界の実現に貢献するひと	
<p>海や山に囲まれた豊かな自然、出島に代表される海外との交流の歴史、和華蘭文化や世界遺産などへの関心を高め、郷土長崎に誇りを持ち、愛する心を育むとともに、次の世代にしっかりと継承していく必要があります。</p> <p>また、社会経済のグローバル化の進展の中においては、日本だけでなく、他国の歴史や文化についても理解を深め、自ら進んで外国人と交流できる国際感覚を養い、長崎が持つ世界的な価値を発信するとともに、 <u>貧困や飢餓、環境破壊など、世界中が抱える様々な問題の解決に向けたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、自ら当事者として主体的に参加するなど、グローバルな視点を持つことが必要となります。</u> 長崎にしかできない役割を果たすことで、日本はもとより、世界に貢献していくことが必要となります。</p> <p>(1) 長崎の豊かな自然や歴史、文化に愛着を感じ、次の世代に継承するひとを育てます。</p> <p>(1) 外国の文化や考え方を理解し、外国の人々との交流や共生を通して、社会に貢献するひとを育てます。</p> <p>(2) 長崎が持つ世界的な価値や魅力を国内外に発信するひとを育てます。</p> <p><u>(3) 世界中の人々と連携して持続可能な世界の実現に貢献するひとを育てます</u></p>	
5 被爆の実相を継承し、平和の実現に貢献するひと	
<p>原爆被爆から 75<u>70</u>年が経過し、被爆者の いなくなる時代が現実となりつつあるが減少する中、被爆体験を被爆者から直接継承することが難しくなっていることから、被爆の実相を正しく理解し、次の世代に確実に継承する必要があります。</p> <p>また、世界中の人々の、核兵器廃絶や平和に対する考え方は様々であることから、平和の実現に向けては、それぞれの考え方を理解しながら、世界中の人々と対話することや、平和のメッセージを発信していくことが必要となります。</p> <p>(1) 被爆の実相や体験を学び、次の世代に伝えることができるひとを育てます。</p> <p>(2) 核兵器廃絶のメッセージを世界に向けて発信することができるひとを育てます。</p> <p>(3) 世界の現状を知り、平和とは何かを考えることができるひとを育てます。</p>	

第1期教育大綱
み出すことができるひとを育てます
<p>5 地域を支え、未来へつなぐひと</p> <p>人口減少、少子化・高齢化の進展やライフスタイルの多様化等の影響により、私たちの暮らしにも大小様々な変化が起きていくことが予想される中、誰もが未来に希望を持ち、暮らし続ける魅力にあふれた長崎のまちであり続けるためには、環境の変化に対応しながら、それぞれの地域を支える人材の育成が不可欠です。</p> <p>地域で生まれた一人ひとりが、自ら地域を支えとともに、次の世代を担うひとづくりに努めることにより、世代を超えた地域の活性化につながります。</p> <p>(1) 様々な世代とふれあい、地域との関わりを大切にするひとを育てます。</p> <p>(2) 地域を守り、支える意識を持ち、自ら行動できるひとを育てます。</p> <p>(3) 次の世代を担う人材を育成することができるひとを育てます。</p>

第2期のめざすすがたの考え方 ・キーワード（時代の流れ、特に求められる視点）
<p>【柱（大項目）の考え方】</p> <p>○地域の魅力を愛するひとづくり</p> <p>○自分の安全は自分で守るという意識や、地域で助け合う意識を持つひとづくり</p> <p>○「地域と産業を支える」ために、地域と産業に貢献するひとづくり。</p> <p>（長崎を愛する心を持つひとを育てることが、地域と産業を担う人材を育てることにつながる。）</p> <p>【踏まえるべきべきキーワード】</p> <p>《時代や社会状況の変化》</p> <p>○歴史文化遺産保全の機運の高まり</p> <p>○DMO、出島メッセ長崎の開業、松が枝の整備進展</p> <p>○気候変動（災害の激甚化）</p> <p>○持続可能な世界の実現（SDGs）</p> <p>《特に求められる視点》</p> <p>○魅力の発信と充実と更なる資源磨き</p> <p>○キャリア教育</p> <p>○当事者</p> <p>○環境との調和（持続可能性）</p>

第2期教育大綱
<p>(4) 平和な世界の実現に向けて国、人種、宗教、文化の違いを認め、相互理解のもとに対話や議論をすることで、身近に信頼を生み出すことができるひとを育てます。</p> <p><u>(5) 日常の中に平和の文化を根付かせ、その文化をひろげるひとを育てます。</u></p>
<p>6 <u>長崎を愛する心を持ち、まち地域を支え、未来へつなぐひと</u></p> <p><u>海や山に囲まれた豊かな自然、出島に代表される海外との交流の歴史、和華蘭文化や世界遺産などへの関心を高め、郷土長崎に誇りを持ち、愛する心を育むとともに、その個性を大切に守り、磨き上げながら、次の世代にしっかりと継承していく必要があります。</u></p> <p><u>また、人口減少、少子化・高齢化の進展やライフスタイルの多様化等の影響により、私たちの暮らしにも大小様々な変化が起きていくことが予想される中、誰もが未来に希望を持ち、暮らし続ける魅力にあふれた長崎のまちであり続けるためには、環境の変化に対応しながら、それぞれの地域や産業を支える人材の育成が不可欠です。</u></p> <p>地域で生まれた一人ひとりが、<u>当事者意識を持って、地域で助け合う意識を高めることで、</u>自ら地域を支えとともに、次の世代を担うひとづくりに努めることにより、世代を超えた地域の活性化につながります。</p> <p><u>(1) 長崎の豊かな自然や歴史、文化に愛着を感じ、次の世代に継承するひとを育てます。</u></p> <p><u>(2)(1) 様々な世代とふれあい、地域との関わりを大切にするひとを育てます。</u></p> <p><u>(3)(2) 地域を守り、支える意識を持ち、自ら行動できるひとを育てます。</u></p> <p><u>(4) 社会的・職業的に自立し、主体的に社会と関わり貢献するひとを育てます。</u></p> <p><u>(5)(3) 次の世代を担う人材を育成することができるひとを育てます。</u></p>